

【 天国への手紙 ～ 8月6日放送原稿 ～ 】

爺ちゃんへ

ラジオネーム…フナキ

爺ちゃん、久しぶり。

こっちは、嫌になるくらい暑い日が続いている。

もう完全に夏バテだよ。そっちは暑さなんて無縁なのかな？

まだまだ行く予定はないけど、

そうだったら、そこだけは羨ましいかな。

最近は食欲が湧かなくて、簡単な麺類ばかり食べているけど、

そんな時、食べたくなくなるのが爺ちゃんの手打ちそば。

夏休みに爺ちゃん家ちに遊びに行くと1度は絶対出てくる、あの蕎麦。

あれは美味かったな。麺の太さがまちまちで見た目は悪いし、

そばつゆは市販の物ではあったけど、

間違いなく俺が食べてきた中で一番の蕎麦だった。

「俺が作った蕎麦が一番うまいべ？」っていう爺ちゃんのお決まりの台詞と笑顔、なんだか懐かしいな。

まだ亡くなって1年しか経っていないのにね。

知っていると思うけど爺ちゃん家にはまだ、
蕎麦打ち道具が残っているんだ。

誰も使っていないんだけど、婆ちゃん、中々捨てられないみたい。
なんだか、もったいないよね。

だから今年のお盆に爺ちゃん家に行ったら

俺、蕎麦打ちやってみようと思うんだ。

爺ちゃんの味がまだ記憶に残っている内に。

最初から上手く出来るとは思わないけど、

出来たら仏壇にお供えするね。天国から味見してくれると嬉しいな。

〈

夏祭の

／

井上陽水

〉